

令和3年度 学校評価

1 学校目標

神社神道を建学の精神とし敬神崇祖を教育の根幹として「浄・明・正・直」の心を養う。
生徒の才能と適性を開発し、学力・体力・気力の増進を図り個性あふれる心豊かな生徒を育成する。

2 中期目標

1 学校運営

- (1) 神社神道の精神である「浄明正直」を実現する
 - ア、学校行事を通して神社神道の精神を学び、成長の糧とする
 - イ、奉仕活動を積極的に行い奉仕の精神を養う
 - ウ、挨拶を積極的に行う
- (2) 教員研修の充実
 - ア、教科ごとに学内公開授業を実施。教員研修の実施
 - イ、外部の研究会や研修会などに教員が積極的に参加
 - ウ、外部講師を招き学校現場でのタイムリーな課題について研修会等を教職員全員対象で実施
 - エ、ICT教育推進のため各種研修会発表会、見学会参加
 - オ、新任教諭による研究発表会
- (3) 学校施設の充実
 - ア、学習施設の整備充実
 - イ、校内学習補助機材等の充実
 - ウ、高天原スポーツキャンパス(産土ゴルフクラブ)の整備
- (4) 危機管理体制の確立
 - ア、災害時、管理マニュアルの作成
 - イ、水、食料の備蓄
 - ウ、防犯訓練・避難訓練の実施(大阪880万訓練の日)

2 基本的生活習慣の確立

- (1) 人権教育
 - ア、生活実態調査
 - イ、学年別にテーマを決めHRの時間に於いて実施。
 - ウ、生徒対象人権研修会
- (2) 生活指導
 - ア、学校外危険箇所、正門での登下校時の指導
 - イ、いじめ防止マニュアルに添ったいじめ実態アンケートの実施
 - ウ、全校生徒対象の校長講話ならびに生徒指導部長からの注意
 - エ、服装、頭髪指導、及び公共のマナー、交通マナー向上指導
- (3) 講演会、講習会の実施
 - ア、薬物乱用防止教室
 - イ、防犯教室
 - ウ、人権研修会
 - エ、ネット犯罪防止教室
 - オ、思春期教室
 - カ、自転車通学者講習会
 - キ、AED講習会

3 学力向上と進路

- (1) 教科指導の強化
 - ア、教科内での教員研修会の実施
 - イ、オンライン授業やUP講座を通じて指導力の向上
 - ウ、大学講師と連携した勉強会
- (2) 英語教育の強化
 - ア、英語検定全員受検と受検のための指導
 - イ、Naniwa Global Academy (ISA) の実施
 - ウ、海外語学研修の実施
 - エ、英語科教員に英語検定取得とTOEICスコアの取得の奨励
 - オ、浪速国際コースでの実践力強化
- (3) 講習等の実施
 - ア、始業前の学習指導
 - イ、日常の放課後講習とその後の自習指導
 - ウ、長期休暇中での講習
 - エ、長期休暇中の特別授業や講習の実施
 - オ、多聞合宿の見直しと内容の充実
 - カ、夏期特別選抜合宿の実施
- (4) ICT教育の推進
 - ア、ICT関連のICT教育先進校、ICT活用授業モデル校訪問、研究会、展示会参加
 - イ、研究授業実施、ICT機器を活用した授業研修、オンライン授業の充実、インフラ環境のさらなる充実
- (5) 将来の進路選択に関する意識付け
 - ア、大学入試改革・学習指導要領改訂への対応
 - イ、各大学・専門学校関係者による校内・校外での進路説明会・キャリアガイダンスの実施
 - ウ、各大学で開催されるオープンキャンパス、セミナーへの積極的な参加
 - エ、外部講師を招いての受験対策講義
 - オ、HR等の時間での進路説明会
 - カ、思考力・判断力・表現力の育成

4 保護者地域に開かれた学校づくり

- (1) 保護者による授業参観と懇談
 - ア、授業参観の実施
 - イ、各学期に行われる成績懇談会
 - ウ、学期末テスト後に行われる個人懇談会
- (2) 保護者との連携と情報発信
 - ア、担任と保護者との連携
 - イ、保護者へ学校連絡網システムやホームページによる情報発信
 - ウ、保護者対象進路説明会の実施
 - エ、高校生活支援カード作成による連携
- (3) 地域との連携
 - ア、大和川中学校区のイベントへの参加
 - イ、地域主催「区民まつり」「福祉祭り」「住吉区民コンサート」等の参加
 - ウ、吹奏楽部定期演奏会(フェニーチェ堺)
- (4) 奉仕委員会
 - ア、地域での奉仕活動
 - イ、近隣の老人ホーム慰問

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己アンケートの結果と分析	学校評価委員会からの意見
<p>○生徒 自己分析と授業評価アンケートの結果、全学年の平均で昨年の80%より増加し85%の生徒達が学校生活を楽しく過ごしているとの結果が出ています。特に、2年生では修学旅行等の実施により8%の増加となった。一方、充実感を得ていない生徒や不満を抱えている生徒達は昨年と同じ5%で横這いである。家庭学習の時間は全学年で昨年度より大幅に増加しており、良好である。69%の生徒が授業の進み方が適切であり、理解しやすい授業が多いと答えており、工夫された授業が多いについても同程度の数値となっている。生徒達は予習や復習については昨年度より7%増加し改善されているが、依然として全体的には良くできていないと感じているようである。他方、提出物や宿題などはしっかりと提出できていると答えており、課題を中心に取り組んでおり、予習復習については不足を感じているようである。将来については真剣に考えていると答えている生徒は、全学年で増加しており、特に2年生で10%の生徒が増加している。今後の課題としては、引き続き主体的に学びに向かう力の育成、思考力・判断力・表現力の育成が更に大切であると思われる。</p> <p>○保護者</p> <p>○教職員 学校運営については建学の精神を元に、教育課程の充実、教育活動の情報発信、教員研修の充実、危機管理など全教職員からのアンケート結果から90%以上の教職員が達成したと評価をしている。一方、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響のため、授業公開、地域との交流についての項目が例年より低い数値になった。教育内容については、生活指導を中心に日々の生活態度の改善と公共・交通マナーの向上や校内の美化・風紀などの向上、進路相談などによる進路指導の充実、人権教育、情報モラル教育の内容充実などが95%を超える高い数値となっており教職員から評価されている。放課後講習及びカウンセリング体制についての項目では平均で80%を超えており、昨年とほぼ同じである。コロナ禍の下で様々な変化に対しても、生徒のため、柔軟に対応できたことは評価できると考えられる</p> <p>○分析 本校の施設面での教育環境整備が更に進み、教職員は教育の中身についてしっかりと対応できるようになってきた。新型コロナウイルス感染症拡大の影響による新しい教育スタイルについても、更なる向上を目指して取り組んでいる。特に大学入試に対しては大学入試改革に伴う変更などにも確実に対応できた。次に、生徒達の僅かな変化をいち早くキャッチすること、問題の解決へ敏速に動くこと、学校生活を安心して送るため保護者との連絡や報告を密にとり、教員間での相談、情報共有など、個々の教員が実践できるようになってきている。新学習指導要領・新入試制度に対応できるよう、英語4技能の習得・アクティブラーニング・「思考力・判断力・表現力の育成」・ICT機器の活用などを通して「学力の3要素」の育成を更に目指し、教育を行っていく必要がある。さらには、コロナ後の新しい授業スタイルの必要性が生じているため、その対応力が今後も求められる。</p>	<p>・とても積極的に明るく校内でお過ごしになられるのをお見受け致します。学校内の様々なスペースを生徒様達が、各々に活用し学習や仲間との積極的にコミュニケーションをとり、生き生きと日々をお過ごしになられています。沢山の生徒様達の個性の多様性が個々に刺激あつて高め合い、学校の活気が変わっているように感じます。文武両道で切磋琢磨に努力し、日々をお過ごしになることが世の中から支持される生徒様のお姿だと思います。</p> <p>・生徒全員がパソコンを使いこなしている。コロナ対策として毎日の検温もコロナ感染を広げない様にとでも考えられている。保護者からの欠席連絡もアプリで出来るので便利だと思います。</p> <p>・学校生活はとても充実したの楽しい生活は殆どの生徒は送っていると思います。ただ、勉強に関してはまだまだ足りないと感じております。大学進学成績においても、満足のいくものではないです。受験に対してもっとしっかりと取り組んで欲しいなと思っております。</p> <p>・今の自分に何が必要なのか。これからの時代に何が必要なのかを、真剣に考えてもらいたと思います。勉強やクラブ活動・友人関係やその他の活動など大いにチャレンジしてたくさん経験をしていてもらいたと思います。</p> <p>・コロナ禍における工夫された学校生活で、生徒達が85%の方が、楽しく過ごせて満足している状況は、良いことではあるが、一方不満や満足していない生徒が5%、その他10%の生徒の実態の追求及び改善がより良い学校への課題であると思いますので、その点を掘り下げて頂ければ幸いです。予習復習については、課題や宿題の提出は出来ていて、逆に予習復習について不満を感じている点については、課題や宿題の量にも関係は無いのでしょうか。将来について考えていることは大切なことで増加しているというのは良い傾向であると思います。</p> <p>・常に進歩し、教育環境や資材、クラブ活動へのバックアップをする環境資材の充実をとても喜んでおられます。努力を惜みず、丁寧に誠意をもってご対応なされている先生方に強く感銘をお受けなられているようです。沢山の保護者の皆様が浪速高校様の神社神道のお考えにも共感し、浪速高校様を愛されていらっしゃる方々が年々増えているように思います。</p> <p>・新型コロナウイルスの影響で授業参観や浪速祭など、保護者の方が学校行事に参加することがほとんどありませんでした。PTAの総会やPTAクラブ活動等も中止になってます。今後のPTA活動をしていく中で、コロナ禍の影響等も踏まえ、今後は今まで以上に保護者の皆様に活動に参加していただける様に考えていきたいと思っております。</p> <p>・神社神道の建学の精神を基礎とされ、生徒様の模範となり高い目標をお持ちになり常に向上されているお姿をお見受けします。明るく丁寧に誠意をお持ちになられ、生徒様や保護者の皆様方、浪速学院にたずさわる人々に真摯に向き合うお姿はとても清く美しく感銘をお受けいたします。100年における浪速高校様の伝統を、しっかりと次の世代、次の世代へと継承されているようです。特に職員室内で先生方が一丸となり、日々日々を創意工夫をされスクラムを組まれているお姿を常に目にします。チーム一丸となり、常に進歩を止めない先生方を拝見することは私にとっても貴重な勉強になります。</p> <p>・担任によってすぐく差があるのは気になる場所ですが、学習面ではしっかりとサポートしていただき生徒1人1人に適した進路をアドバイスいただけるのは私立ならでも、とても手厚く対応していただけてます。</p> <p>・コロナ禍における生徒指導は大変ご苦勞されていることと推察いたします。当たり前のことができるような人を育成して頂けるように期待いたします。</p> <p>・学校運営に関しては、現状でいいのではと思います。クラブ活動は、もう少しけじめをつけた活動であってほしいものです。</p> <p>・今回の新型コロナウイルスの件で、教職員の方は大変だったと思いますが、今まで以上に学業の授業や生活指導をお願いしたいと思います。若い教職員も増えているかと思えます。教育関係の研修会や講習会等のみではなく一般社会の事を学んでいく必要があると思えます。人間としての幅を増やして、生徒への教育に生かして欲しいと思えます。</p> <p>・学習施設の整備に力を入れることは大いに評価できます。生活習慣の指導においては、ネット犯罪防止にお一層の努力を期待します。また、英語教育においては外部講師を招いて、英語の音感になれることが大切だと思いますので授業では終始英語が流れている教室も有りかと思えます。受験に際しては、聴き取りも大事だと思います。受験に関係なく社会に出てから職場で必要な時が来ると思えます。IT教育の一環として、近年「メタバース」に関心がもたれ始めております。「アバタ」になって、テーマを決め仮想空間を体験するの新しい学習ではないかと思えます。</p> <p>・現在の浪速高校様は、生徒様がそれぞれの個性を最大限に伸ばせるように他に類を見ないスピードで最高のグレードの教育資材を導入し、常に生徒様の為に更なる高みを邁進なさっております。文武両道を日々実践し、学院神社のもとで一つになられ、創意工夫の繰り返し、現在沢山の大阪の方々から支持される、しなやかで力強い今の浪速高校に感銘を受け、私自身感謝の気持ちでいっぱいです。</p> <p>・スポーツ施設がとても充実しているので、一般の学生も利用でき様に何か考えて欲しいです。</p> <p>・風通しの良い学び舎で、人を育てて行く環境整備の充実を期待いたします。今年はWithコロナとして共存し感染対策などご苦勞をお掛けいたしますがよろしく願いいたします。</p> <p>・今回の新型コロナウイルスの件で、いつ何がどうなるかわからない時代になりました。5G時代になる事によって、またさらなるオンライン化が勧めやすくなるかと思えます。いかなる事にも素早く対応できる様に、危機管理を最大限に持って、素早く対応できる様に準備していただきたいと思えます。浪速ならではの教育を進めていっていただきたいと思えます。</p> <p>・教育学習については、適切な運営、指導、監督には申し分ないと思えます。地域活動との連携については、ご提案があれば協力ができると思えます。</p>

3 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価	
学校運営	(1) 神社神道の精神である「浄明正直」実現	ア、学校行事を通じて神社神道の精神を学び成長の糧とする。毎月一日の学院神社参拝、校外学習における神社参拝や伊勢修養学舎を実施	行事实施前の神道授業での事前学習の充実と実施後の変化や成果を検証し改善を行う	行事(一斉参拝など)と授業(神道)を連携させて実施した。神社奉仕は、新型コロナウイルス感染防止のため、中止となった。清掃活動は感染症対策を行ったうえで2学期以降実施した。	
		イ、奉仕活動を積極的に行い奉仕の精神を養う	神社奉仕や校外の清掃活動(学期に1回～2回)を実施		
		ウ、積極的に挨拶をすることにより主体的に生活環境の配慮と構築を進める	教員生徒間はもちろんのこと来校者全員に対しても積極的に挨拶をする	概ね良好と思われるが、一部の生徒に関して十分ではない状況がある。	
	(2) 教員研修の充実	ア、各教科ごとに学内公開授業を実施し教員研修を実施	教科ごと学期に一回の研修会、反省会の実施	各教科、学期に1回程度の公開授業を実施した。	
		イ、外部の研究会や研修会などに、各教科で積極的に参加	各教科で年間で2、3回は参加し、教科内で情報を共有し、教科指導に役立てる。	年間を通じ、各教育機関・公開授業・予備校の研究会などに教科から参加し、教科会議などで情報を共有した。	
		ウ、年2回外部講師を招き学校現場においてのタイムリーな課題・問題について職員全員対象での研修会を実施	現在社会的問題(人権等含む)となっているテーマについて講師の先生から研修を実施して教員への意識の向上と迅速な対応が出来る事を目的とする。	6月17日・10月7日・1月20日に実施した。	
		エ、ICT教育関連の研修や研究授業での機材を利用して実施する	発表会、展示会へ参加 研究授業の実施	各教科とも機材を用いて授業展開を実施した。12月16日には教職員研修会を行った。	
		オ、新任教諭による研究発表会 年間の研究研修の成果を発表する	新任教諭が存在する年に開催される	5月13日・6月10日・7月15日に実施した。	
	(3) 学校施設の充実	ア、学習施設の整備充実を図る	全校生徒、一人1台Chromebook 使用できる環境整備の構築	引き続きWIFI環境と、自学自習用教材のソフトウェアの拡充を行った。	
		イ、校内学習補助機材等の充実を図る			
		ウ、高天原スポーツキャンパスの整備	高天原スポーツキャンパスの整備	産土ゴルフクラブが完成した。	
	(4) 危機管理体制の確立	ア、災害時マニュアルを作成する	マニュアルの作成	総務部を中心に関係各部署と連携を取り作成。	
		イ、水、食料の備蓄を実施する			
		ウ、防犯訓練、避難訓練の実施	大阪880万訓練の日に実施	9月3日に実施した。	
	基本的な生活習慣の確立	(1) 人権教育	ア、生活実態調査	各学年1学期に1回実施	「人権アンケート」として、7月・9月に実施した。
			イ、人権推進委員会からHRでの学習	各学年各学期に1、2回実施	1年:4月・10月・2月、2年:10月、3年11月に実施した
ウ、生徒対象人権教育研修会(2年生のみ)			年1回研修会実施	6月3日に実施した。	
(2) 生活指導		ア、学校外危険場所、正門での登下校時の指導	毎日登下校時実施	計画通りに実施しており現在のところ指導内容の成果は出てきている。問題発生件数は減少傾向にある。近年はネット上のトラブルが中心となっている。今後も継続的な指導が最も効果的であると確信して日々の指導を充実させる。 12月15日に教職員対象のいじめ研修会を実施した。	
		イ、いじめ防止マニュアルに添ったいじめ実態調査アンケートの実施	学期に1、2回実施		
		ウ、全校生徒対象の校長講話と生徒指導部長からの注意、指導	月2回の全体指導		
		エ、服装、頭髪指導及び公共のマナー、交通マナー向上の指導	毎日登下校時実施		
(3) 講演会、講習会の実施		ア、薬物乱用防止教室	中高で実施	11月18日に実施した。	
		イ、防犯教室	中高1、2年対象で実施	7月15日に実施した。	
		ウ、人権研修会	各学年で実施	上記(1)ア・イに記載。	
		エ、ネット犯罪防止教室	中高合同で実施	4月6日に実施をした。	
		オ、思春期教室	高校3年生で実施	6月24日に実施した。	
		カ、自転車通学者講習会	高校1年生対象で実施	4月6日に実施をした。	
		キ、AED講習会	クラブ代表生徒対象で実施	7月13日に実施をした。	

学力向上と進路	(1) 教科指導力の強化	ア、教科内での教員研修会の実施。	教科別教員研修会の実施。 朝・放課後・長期休暇期間における講習実施後の小テストや模擬テスト、定期テストの結果を見て改善箇所の発見と改善に努める。	各教科内で互いに授業見学を行い、授業力の向上に努めている。また、ICT機器を活用した教授法などの研究を行っている。Google認定教育者(レベル1)資格の取得を推奨し、いつでもオンライン授業に対応できるように、スキル向上に努めている。
		イ、オンライン授業やUP講習の指導を通じて指導力の向上		
		ウ、大学講師と教員との連携と勉強会		
	(2) 英語教育の強化	ア、高校在学中英語検定2級合格を目指す	英語検定は年に2回、TOEFLも実施する	英検は本校で5月21日および1月14日に実施。TOEFL-Juniorは7月11日、11月22日、3月24日に実施した。
		イ、Naniwa Global Academy (ISA) の実施	海外の大学生が来日し本校生徒に対し5日間英語のみでコミュニケーションを図る指導などを行う。	感染症対策を十分に行ったうえで、8月2日～6日の期間で実施した。
		ウ、ニュージーランド語学研修の実施	約3週間国際社会で活躍できる人材の育成を目指し英語学習の必要性を高める。	新型コロナウイルス感染症防止の観点より中止となった。
		エ、英語科教員に英語検定取得とTOEICスコアの取得の奨励	英語検定準1級またはTOEICスコア730以上を目指す	新任教員など、基準クリアーを目指して資格試験を受験予定の教員が複数いる。
		オ、浪速国際コースでの実践力強化	浪速国際コース(1コース)において、様々な取り組みを実践する。	海外大学進学セミナー 3回開催、ベリッツ特別講座の開催、洋書教材を用いた帰納的学習の実践、プリティッシュコロンビア大学交流会参加など多数実施。
	(3) 講習等の実施	ア、始業前の学習指導	月～金まで朝学習を行う。学年ごとに内容などの計画を立てて実施。	2、3年生は、Ⅱ類・Ⅲ類で実施、テストだけではなく、資格取得の練習問題等も実施した。1年生は、資格取得の練習問題、思考力を養う取り組み等を実施した。
		イ、日常の放課後講習とその後の自習指導の実施	模擬テストや定期考査においての成績の向上を指標の1つとして実施	放課後講習は月火水金で実施した。
		ウ、長期休暇中での講習の実施		
		エ、多聞合宿の見直しと内容の充実	新指導要領に対応する内容で実施。主体的学習時間も増やす。	新型コロナウイルス感染症防止の観点より合宿は中止。学校にて新入試を意識した思考力・表現力を育成する内容で実施した。
		オ、夏期特別選抜合宿の実施	国公立大学志望者から成績優秀者を選抜して実施。3年生だけでなく、2年生でも実施	新型コロナウイルス感染症防止の観点より合宿は中止になったが、学校にて3年生は7月30日～8月7日、2年生は7月30日～8月4日の日程で行った。
	(4) ICT教育の推進	ア、ICT教育先進校、ICT活用授業モデル校訪問、研究会、展示会参加。	学校訪問、研究会、展示会参加。 本校独自の研究授業の実施	ICT教育推進部を中心に種々の講習会を開催した。Google認定教育者(レベル1)資格を取得を推奨し。展示会への参加。ICT教育先進校への研究授業に参加。本校内でも、ICT教育の公開授業を実施。それぞれの教科の特性をどのようにICTを利用して伝え成績の向上に結びつけるかなど各教科に於いて研究を行っている。
		イ、本校独自の研究授業実施(電子黒板、プロジェクター、タブレット等)		
	(5) 将来の進路選択に関する意識付け	ア、大学入試改革・指導要領改訂への対応	制度変更や手続き関係などの連絡・説明会などを定期的の実施。	学期毎にテレビ放送にて進路HR(学年別)を実施した。入試方式の変更などを学年全体で共有。
		イ、各大学・専門学校関係者による校内・校外での進路説明会・キャリアガイダンスの実施	進路説明会、キャリアガイダンス等校内・校外で年2回実施	新型コロナウイルス感染症防止のため、主にオンライン形式で実施をした。
		ウ、各大学のオープンキャンパス、セミナー等への積極的参加	大学見学会、セミナー案内を定期的に実施	新型コロナウイルス感染症防止対策を考慮した上で、オープンキャンパスの案内を頻繁に行い生徒が積極的に参加しやすい環境を整えた。学校からも人気大学へのオープンキャンパスを計画し実施した。大学の講師を招き受験対策等の講演会は中止。1年生には将来の受験に対し学習会を実施した。
		エ、外部講師を招いての受験対策講義	難関国公立大学合格を目標に外部講師を招き講義(月1回)	
		オ、HR等の時間での進路説明会	各学年各学期に2回程度実施	
カ、思考力・判断力・表現力の育成		放課後講習や特別授業で実施	Ⅱ、Ⅲ類については学期末の特別授業期間中に、その他の類は毎月曜の放課後に実施した。	

保護者地域に開かれた学校づくり	(1) 保護者による授業参観と懇談	ア、授業参観の実施	4月下旬に授業参観を実施予定	新型コロナウイルス感染症防止の観点より中止となった。
		イ、各学期に行われる三者懇談会	6月と11月に実施予定	6月5日～16日、9月24日～30日(3年のみ)、10月29日～11月13日、1月25日～31日(3年のみ)に実施した。
		ウ、学期末に行われる成績懇談会	7月、12月に実施予定	7月19日～28日、12月17日～24日に実施。この他、必要に応じ、年間を通じて適宜実施。
	(2) 保護者との連携と情報発信	ア、担任と保護者との連携	欠席や遅刻をした場合の保護者への連絡	全ての担任が必ず当日中に電話で確認の連絡をしている。
		イ、ホームページ、学校連絡網システムであるclassiでの情報発信	全ての生徒・保護者と双方向の連絡が取れる仕組みを確立する。	ホームページの充実を心がけ、スクールウォッチで学校での出来事を常に発信した。保護者への情報発信は、HPに加え、classiおよびclassroomを活用している。
		ウ、保護者対象進路説明会の実施	年2回実施	4月は中止し、10月16日のみ実施した。
		エ、高校生活支援カード作成による連携	入学時に提出し、必要に応じて適切な支援を行う	支援が必要な生徒には特別支援委員会で計画を作成し、情報の共有と共に支援を行った。
	(3) 地域との連携	ア、校区でのイベントへの参加	積極的に参加する	11月の地域のイベントは中止となった。吹奏楽部の定期演奏会は、3月28日に実施した。
		イ、地域主催「区民まつり」「福祉祭り」「住吉区民コンサート」等の参加		
		ウ、吹奏楽部定期演奏会(フェニーチェ堺)		
	(4) 奉仕委員会	ア、地域清掃奉仕活動	各学期に1回～2回実施	10月25日と11月15日に実施した。
		イ、近隣老人ホーム慰問	年1回実施	新型コロナウイルス感染症防止の観点より老人ホーム慰問は中止した。